



おきぎん 経済研究所

NEWS RELEASE

“地域のことは地域で考えよう”

〒900-0013 那覇市牧志1丁目3番45号、3階 電話 (098) 869-8711

2016年6月28日

各位

株式会社 おきぎん 経済研究所

「第64回おきぎん企業動向調査」
(2016年4-6月期) 調査結果

※ お気づきの点、不明な点などがございましたら、ご遠慮なく下記までご連絡ください。

・担当：高良

問い合わせ先：(電話：098-869-8711 ファクシミリ：098-869-2200)

現場主義とお客さまからの信頼

第 64 回おきぎん企業動向調査(2016 年 4-6 月期)調査結果

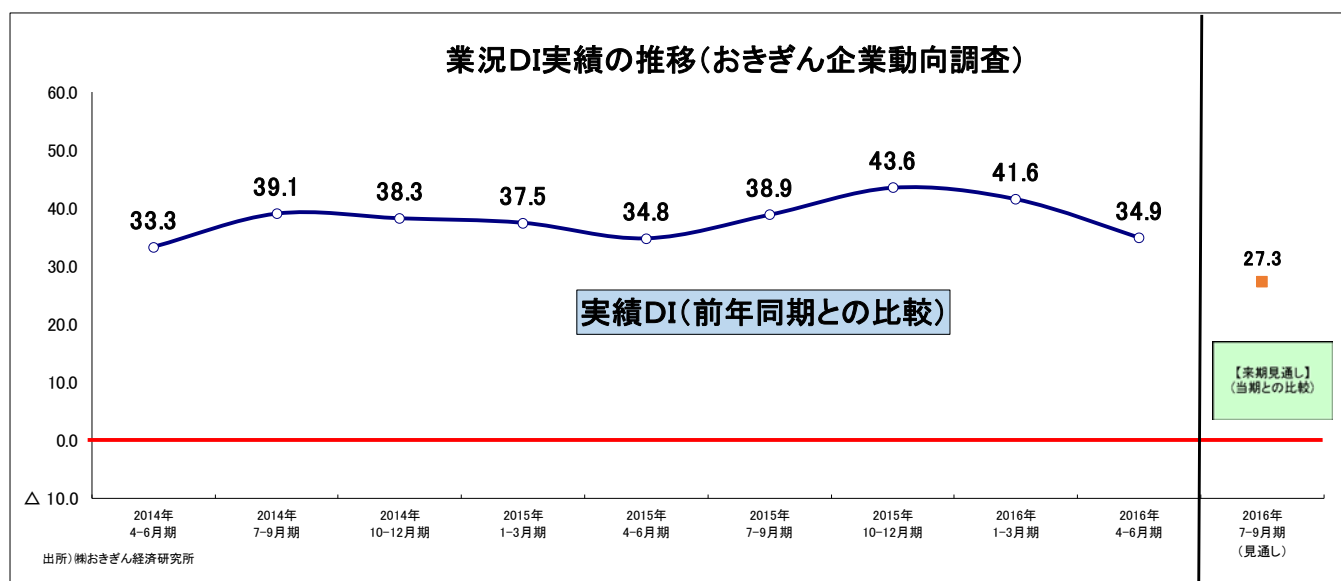
～県内(地域・業種別)の経営環境と業況感(2016 年 7-9 月期見通し)～

I. はじめに

1. 調査の結果

【業況DIの推移】	2015年			2016年		
	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	4-6月期	7-9月期 (見通し)
項目	前年同期比DI	前年同期比DI	前年同期比DI	前年同期比DI	前年同期比DI	前期比DI
全業種計	34.8	38.9	43.6	41.6	34.9	27.3
製造業	28.0	41.7	47.7	42.6	34.0	19.1
土木業	42.9	34.8	37.5	47.4	31.3	50.0
建築業	36.3	43.7	45.2	44.3	46.8	21.5
卸売業	25.4	26.0	37.5	30.5	24.2	22.7
小売業	30.1	38.0	35.0	27.1	33.8	22.1
情報通信サービス業	66.7	53.8	37.5	33.3	8.3	50.0
医療・福祉	8.7	20.0	20.0	22.7	11.1	16.7
その他サービス業(宿泊・飲食等)	46.3	60.8	70.6	52.5	39.1	34.4
その他(不動産、運輸等)	41.2	36.1	45.6	52.4	39.8	34.1

- 2016 年 4-6 月期の業況DIは **34.9** (前年同期比) となり、**全業種で業況改善の動き**がみられ、2011 年 7-9 月期より 20 期連続のプラスとなりました (2 桁プラスは 2012 年 1-3 月期より 18 期連続)。
- 2016 年 7-9 月期の業況見通しDIは **27.3** (2016 年 4-6 月期比) となり、引き続き**全業種で業況改善の動き**が見込まれます。



2. **調査の概要**: 本調査では各企業の業況や売上高、売上・仕入単価、採算等の経営状況項目について、主に経営者の判断(当期実績、来期見通し)をDI(景気動向指数)として取りまとめました。

- a. 調査時期: 2016年5月中旬～6月上旬
 b. 調査対象: 県内企業 458社 回答
 c. 調査内容: ①業況 ②売上高 ③売上単価 ④仕入単価 ⑤採算 ⑥引き合い(問合せ等) ⑦雇用
 ⑧設備・その他投資需要(第51回調査までの「IT関連投資」と「その他の投資」を統合)

—おきぎんDIについて—

主に企業経営者の業況などに関する実績判断や見通しを「好転・上昇・増加」、「不変(変わらない)」、「悪化・低下・減少」のいずれかでお答えいただき、各割合を表したものです(本レポートでは「悪化・低下・減少」はマイナス表示を使用)。

①「好転・上昇・増加」+「不変(変わらない)」+「悪化・低下・減少」=100%

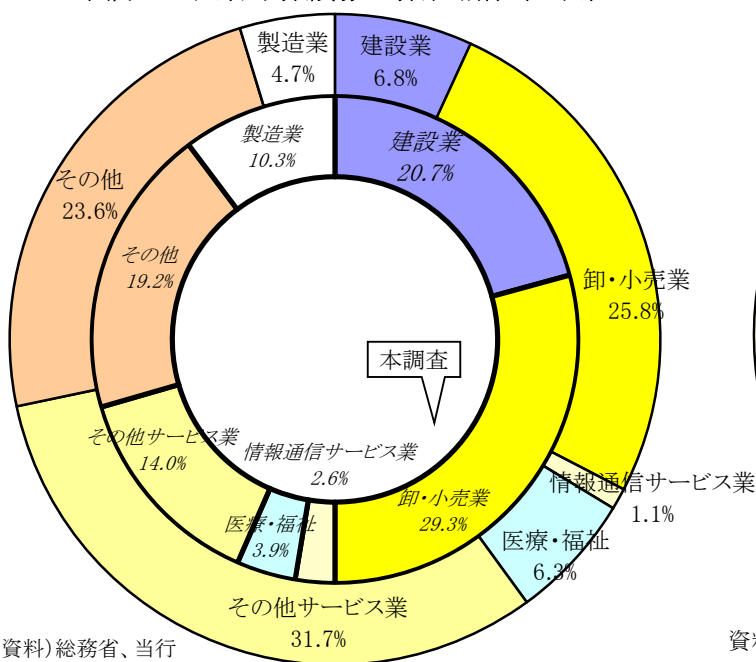
②DI(景気動向指数) = 「好転・上昇・増加」の割合(%) - 「悪化・低下・減少」の割合(%)

従って、DIがプラスなら景気が良い(または上昇見込み)、マイナスなら悪い(または下降見込み)とご覧いただけます。

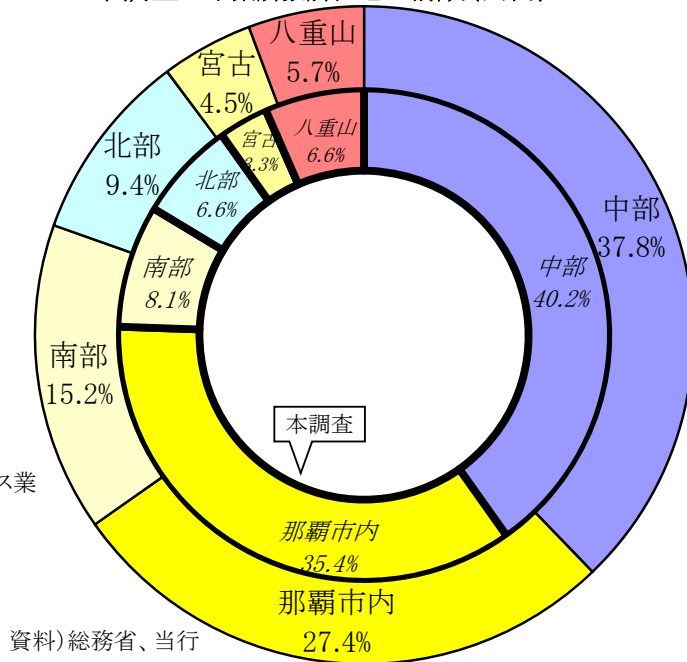
3. **調査対象企業の業種・所在地構成**

- 本調査の業種構成を県内事業所データ(2012年経済センサス基礎調査)と比べると、【建設業(本調査では土木・建築業)】、【卸・小売業】、【製造業】、【情報通信サービス業】はサンプリング数が多く、【その他サービス業(宿泊・飲食等)】、【その他(不動産・運輸等)】、【医療・福祉】はサンプリング数が少なくなっています。
- 所在地構成については、中部・那覇市内で7割を超えるシェアとなっています。

県内の産業別事業所数の構成(外円)、
本調査の回答事業所数の業種構成(内円)



県内の事業所数所在地の構成(外円)、
本調査の事業所数所在地の構成(内円)

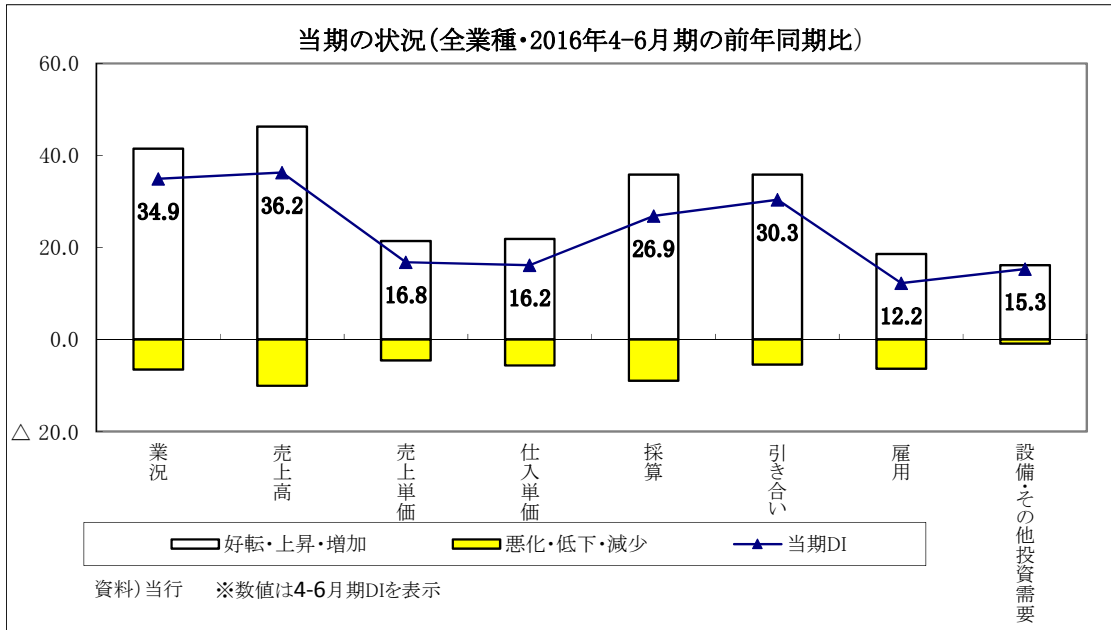


II. 調査結果(1) ～おきぎん DI: 県内の経営環境と業況感について～

1. 全業種

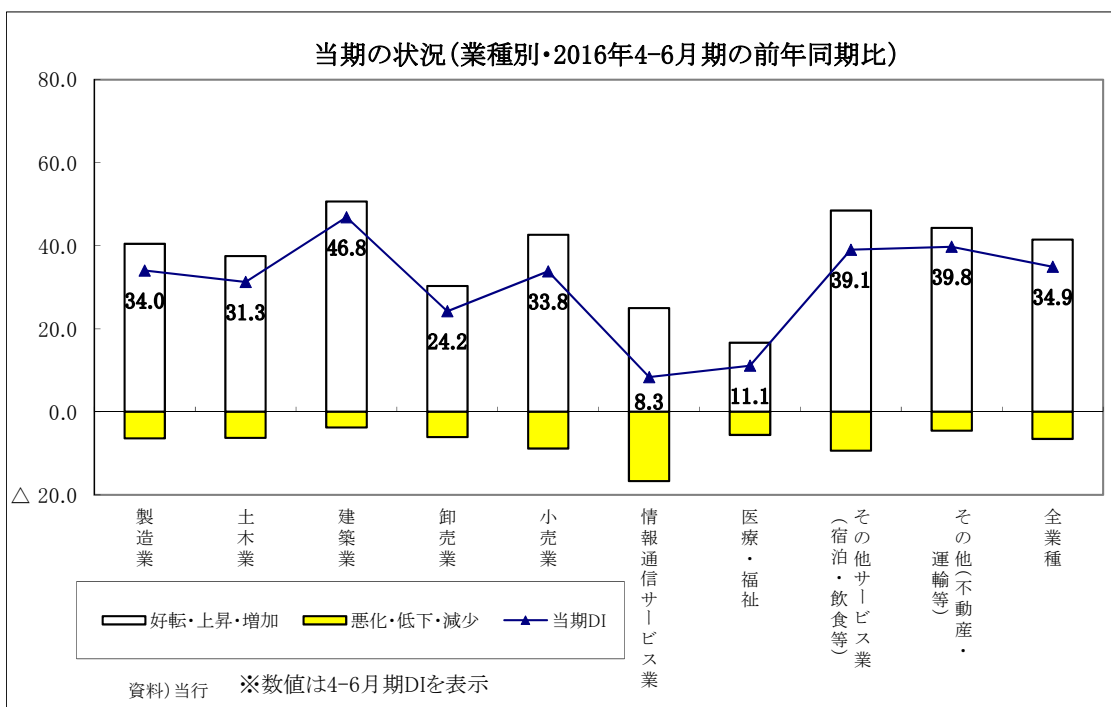
a.①当期の状況(項目別・2016年4-6月期の前年同期比)

当期の業況は **34.9** となり、全体としては業況改善の動きがみられます。公共・民間工事の受注増加や国内外観光客の需要増加などから、売上高(36.2)や引き合い(30.3)をはじめ、多くの項目で改善の動きがみられます。一方で、一部では資材価格高騰などの影響から、仕入単価(16.2)の上昇が懸念されています。



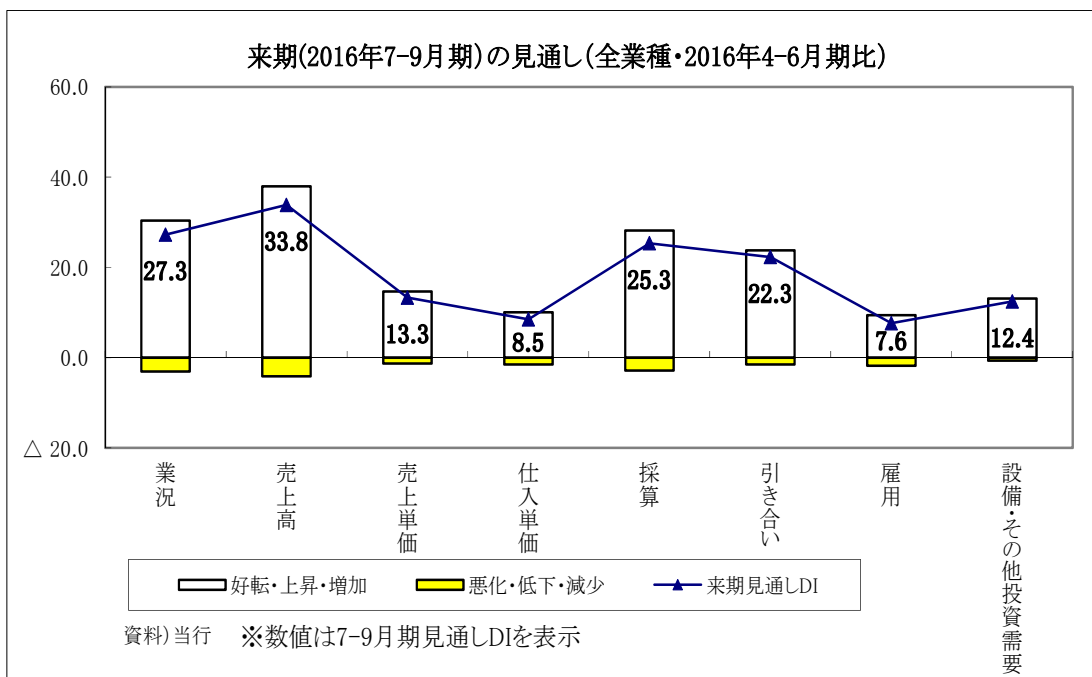
a.②当期の状況(業種別・2016年4-6月期の前年同期比)

業種別では、全ての業種において業況改善の動きとなりました。公共・民間工事の受注増加がみられる【建築業(46.8)】や【その他(39.8)】をはじめ、国内外観光客の需要増加がみられる【その他サービス業(39.1)】などにおいて、全業種 DI を上回る強さがみられます。



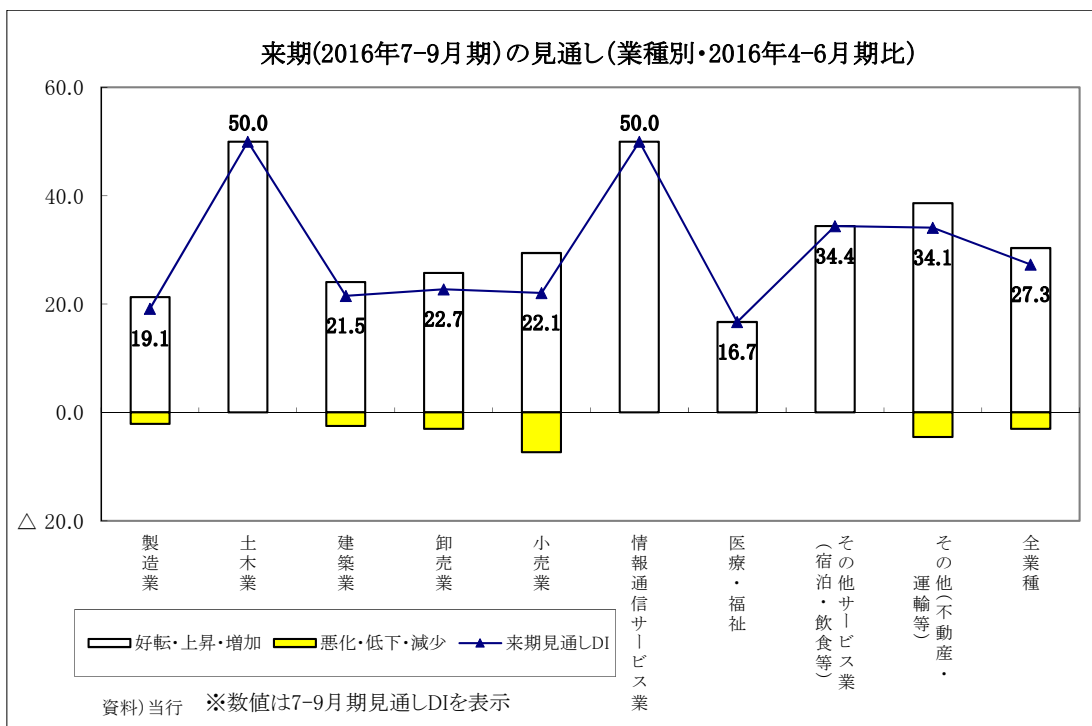
b.①来期の見通し(項目別・2016年7-9月期の2016年4-6月期比)

来期見通し業況DIは27.3となり、引き続き、業況改善の動きが見込まれます。引き続き、公共・民間工事の受注増加や観光のトップシーズン到来による国内外観光客の需要増加などから、売上高(33.8)、採算(25.3)、引き合い(22.3)をはじめ、多くの項目で改善の動きが見込まれます。



b.②来期の見通し(業種別・2016年7-9月期の2016年4-6月期比)

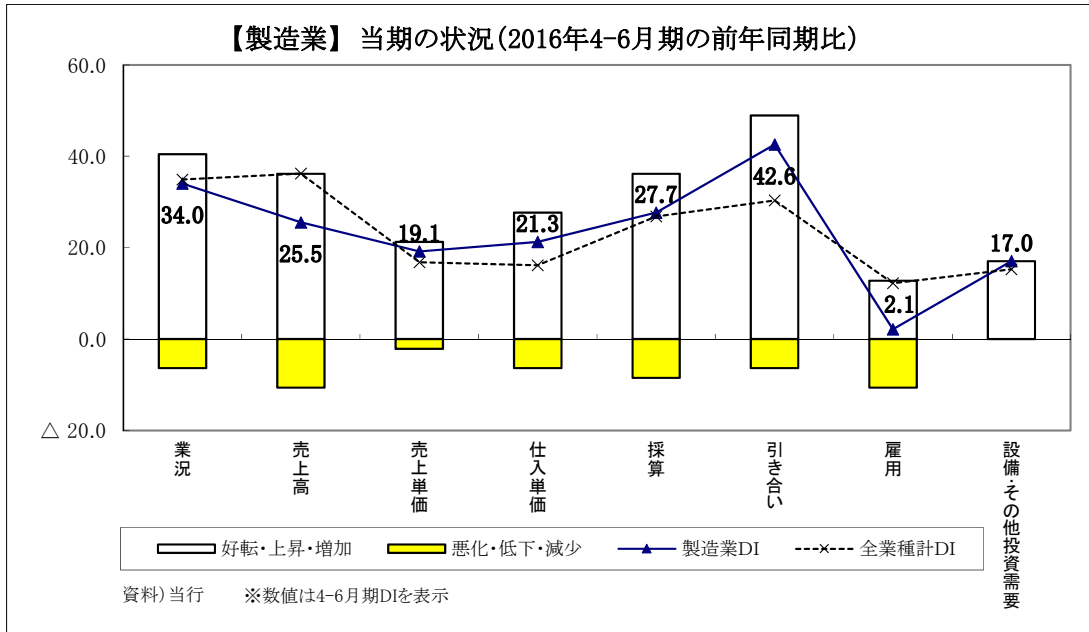
業種別では、全業種において業況改善の動きが見込まれます。【土木業(50.0)】、【情報通信サービス業(50.0)】をはじめ、【その他サービス業(34.4)】、【その他(34.1)】において、全業種DIを上回る強さが見込まれます。



2. 製造業

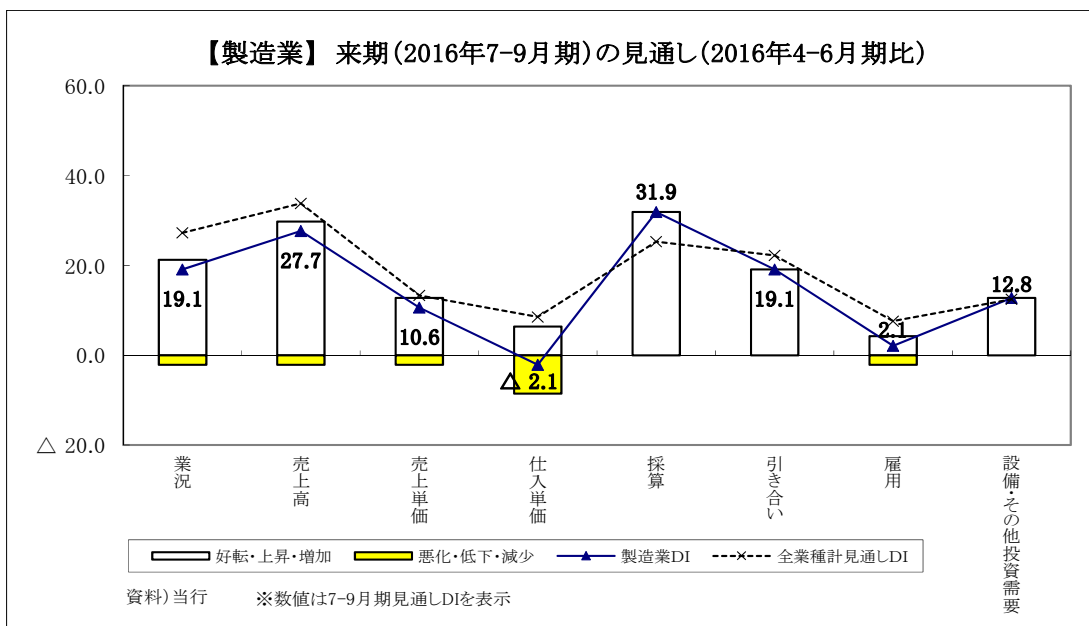
a. 当期の状況(2016年4-6月期の前年同期比)

業況DIは34.0となり、全体としては業況改善の動きがみられます。生コン製造業では、公共工事や民間工事に伴う需要の高まりなどにより、売上高・引き合い・採算の増加がみられます。食品製造業(食肉・豆腐・菓子・野菜加工・水産加工など)では、観光需要の増加や販路拡大などにより、売上高・採算・引き合いの増加がみられます。また、一部の食品製造業では為替や原油価格の影響から仕入単価が減少するなど、採算が改善している事業者がみられます。



b. 来期の見通し(2016年7-9月期の2016年4-6月期比)

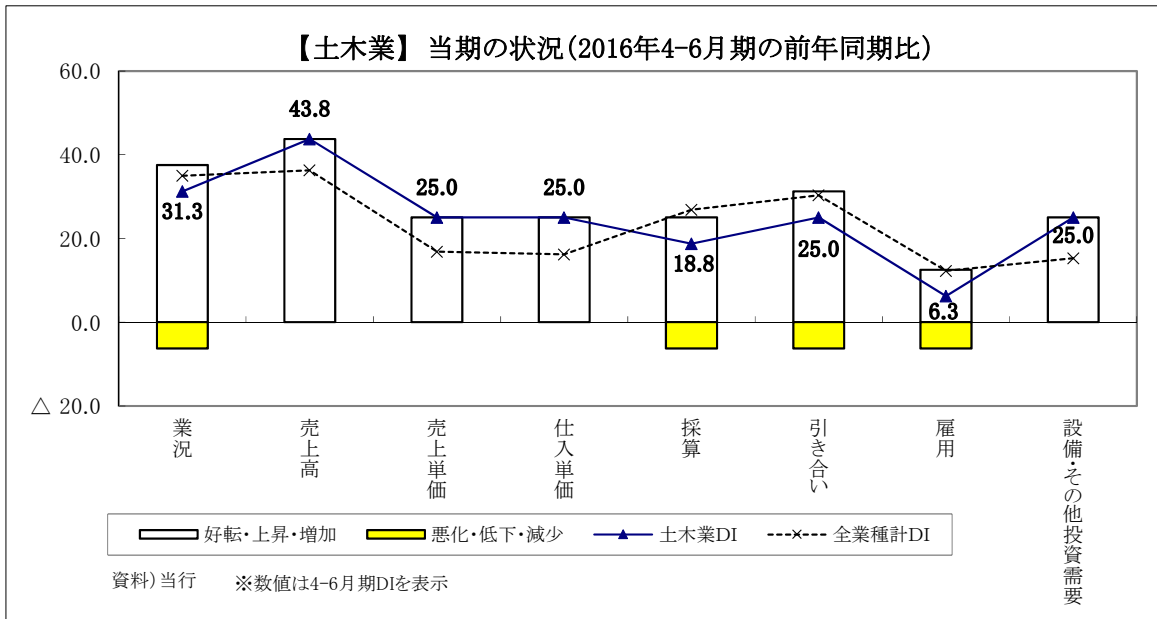
見通し業況DIは19.1となり、全体としては業況改善の動きが見込まれます。引き続き、食品製造業では観光のトップシーズン到来や販路拡大などによる売上高・引き合いの増加が期待されるほか、為替や原油価格の影響による仕入単価の減少から、採算の改善を見込む事業者も一部でみられます。また、一部のシャッター製造・金属製品製造業では、引き合いの増加から業況の改善を見込む事業者もみられます。



3. 土木業

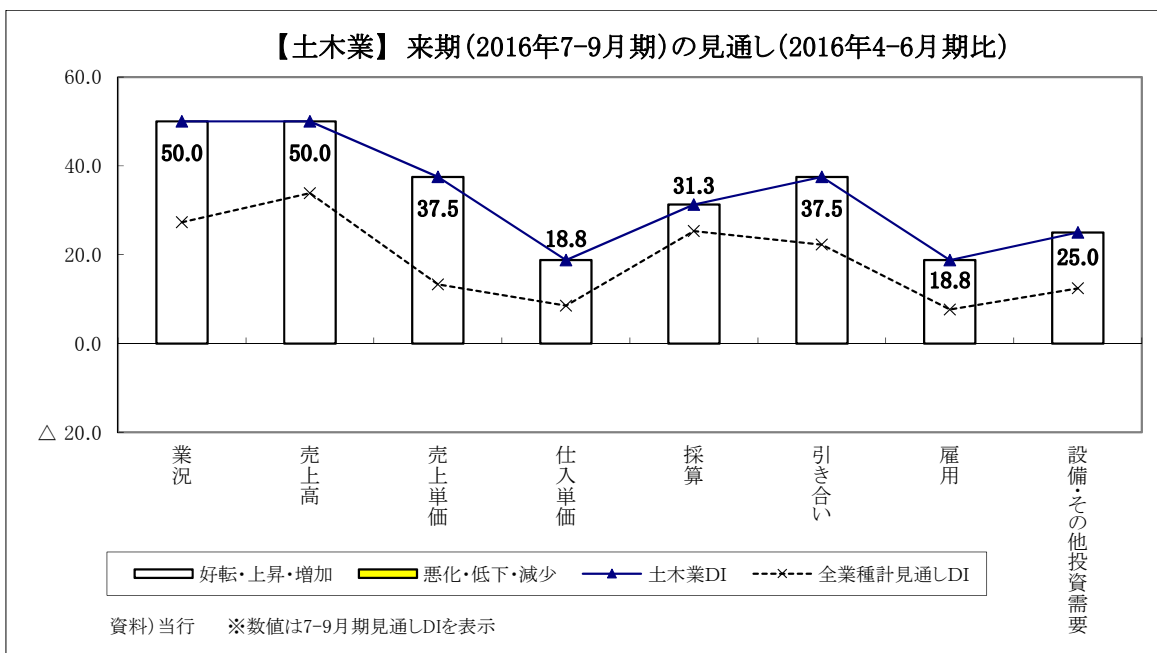
a. 当期の状況(2016年4-6月期の前年同期比)

業況DIは31.3となり、全体としては業況改善の動きがみられます。公共工事の受注増加から、売上高・売上単価・採算・引き合いが増加しています。また、一部の事業者では中古トラック、重機などの投資需要が増加しているほか、従業員確保に向けた福利厚生の充実に取り組む動きもみられます。一方、一部では資材価格高騰などによる仕入単価の上昇や採算の悪化を懸念している事業者もみられます。



b. 来期の見通し(2016年7-9月期の2016年4-6月期比)

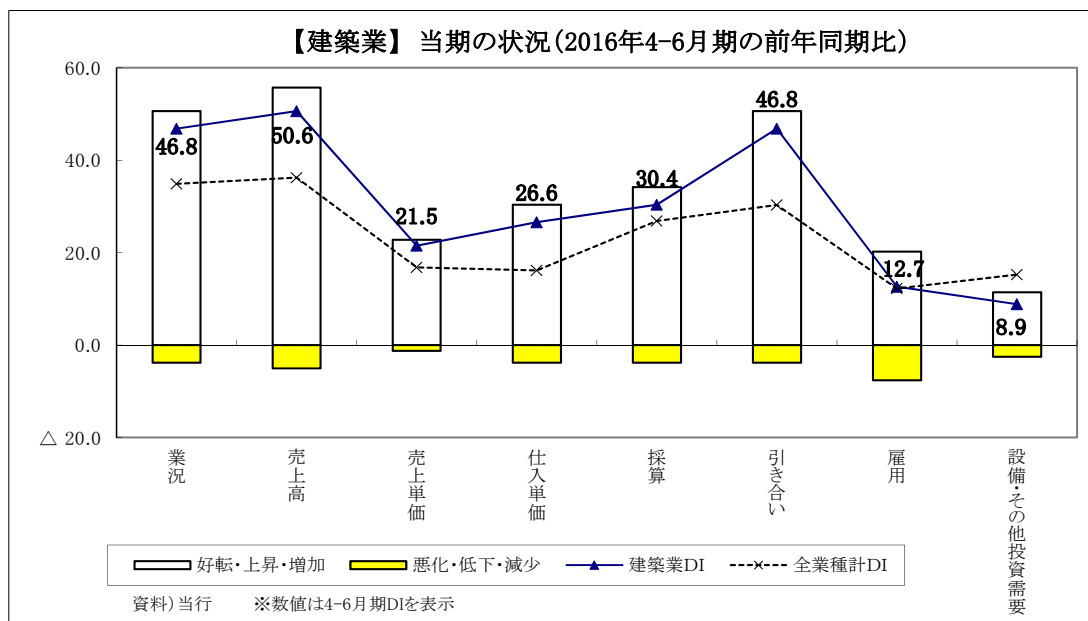
見通し業況DIは50.0となり、全体としては業況改善の動きが見込まれます。引き続き、公共工事の受注増加などが見込まれることから、売上高・採算・引き合いなどの増加が期待されます。一部では、工事増加に伴い、トラックなどへの投資需要を見込む事業者もみられます。



4. 建築業

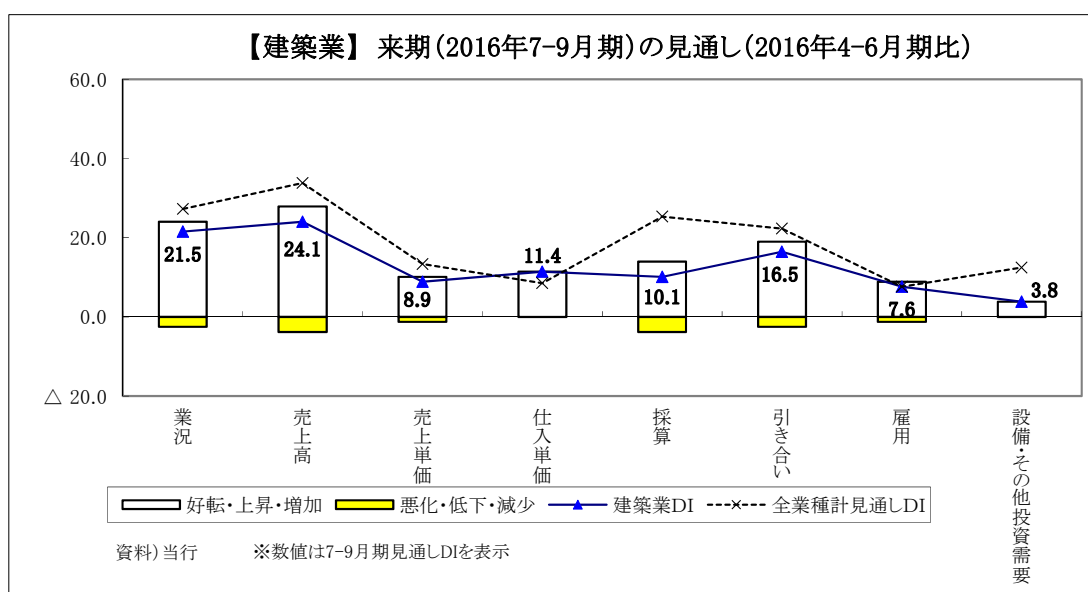
a. 当期の状況(2016年4-6月期の前年同期比)

業況 DI は 46.8 となり、全体としては業況改善の動きがみられます。公共工事(図書館、基地内、学校建替え等)・民間工事(医療施設、マンション、ホテル、アパート等)の受注増加などから売上高・引き合い・採算・雇用が増加しています。一方で、一部では資材価格や人件費の高騰による採算の悪化を懸念している事業者や人手不足から受注を断念している事業者もみられます。



b. 来期の見通し(2016年7-9月期の2016年4-6月期比)

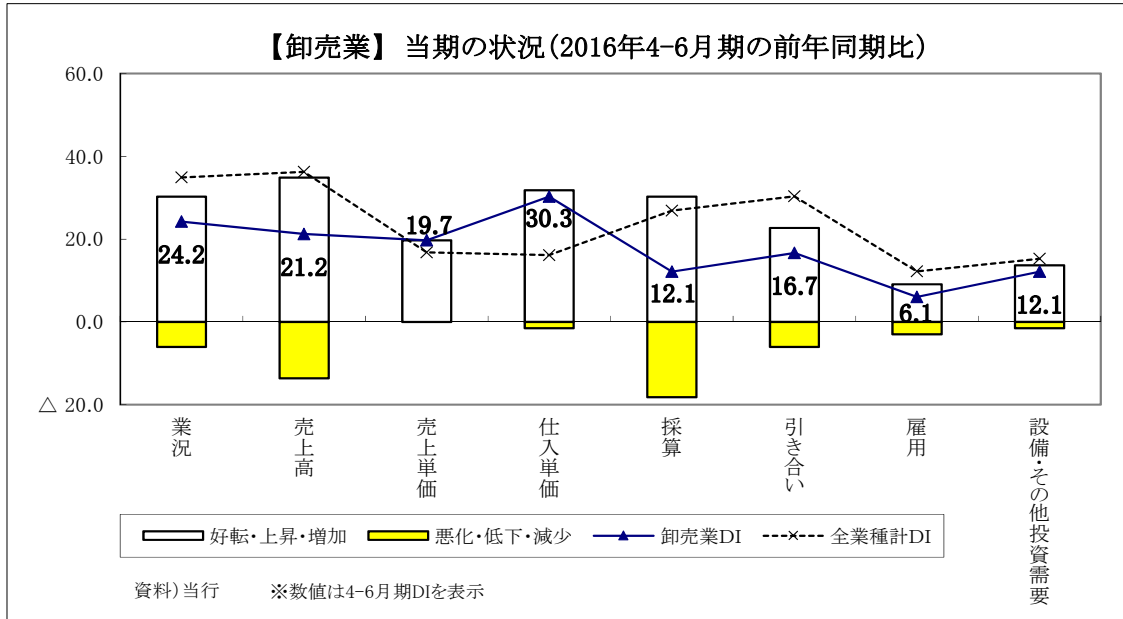
見通し業況 DI は 21.5 となり、全体としては業況改善の動きが見込まれます。引き続き、公共・民間工事の受注増加が見込まれ、売上高・採算・引き合いの増加が期待されます。一方で、一部では熊本地震による資材価格や人員不足への影響を懸念している事業者や、消費税増税延期による引き合いの減少を見込む事業者もみられます。



5. 卸売業

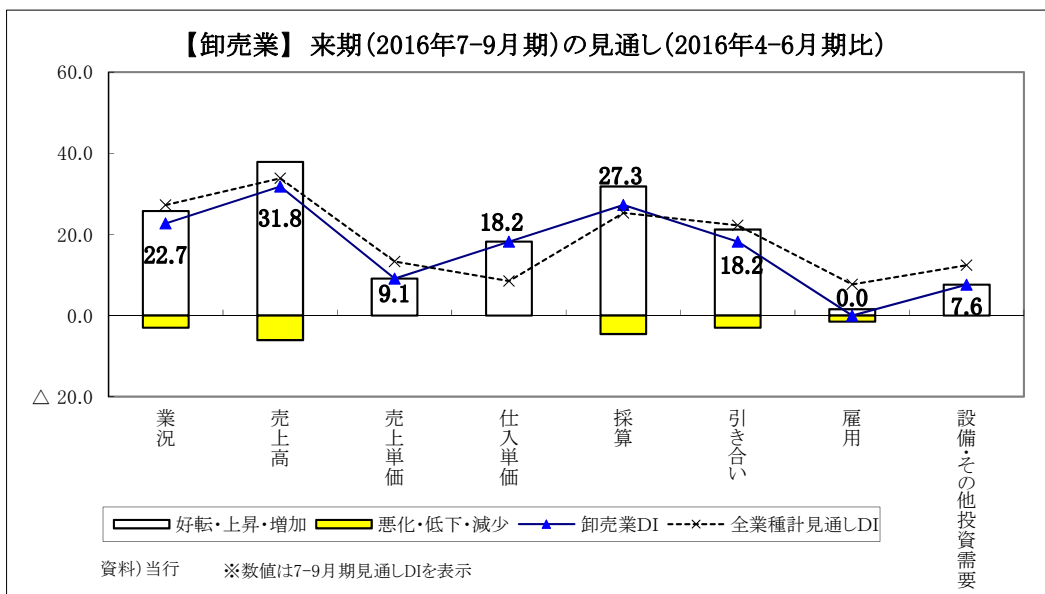
a. 当期の状況(2016年4-6月期の前年同期比)

業況 DI は 24.2 となり、全体としては業況改善の動きがみられます。食品卸売業(食肉・水産加工等)では、ゴールデンウィークなど国内外観光客の需要増加や県内外への販路拡大などにより売上高・採算・引き合いが増加しています。また、一部の石油卸売業では石油元売業者の石油製品販売停止の影響から仕入単価が上昇している事業者がみられたほか、一部の建築資材卸売業では熊本地震の影響により木材などの仕入単価が上昇し、売上高・採算が悪化している事業者がみられます。



b. 来期の見通し(2016年7-9月期の2016年4-6月期比)

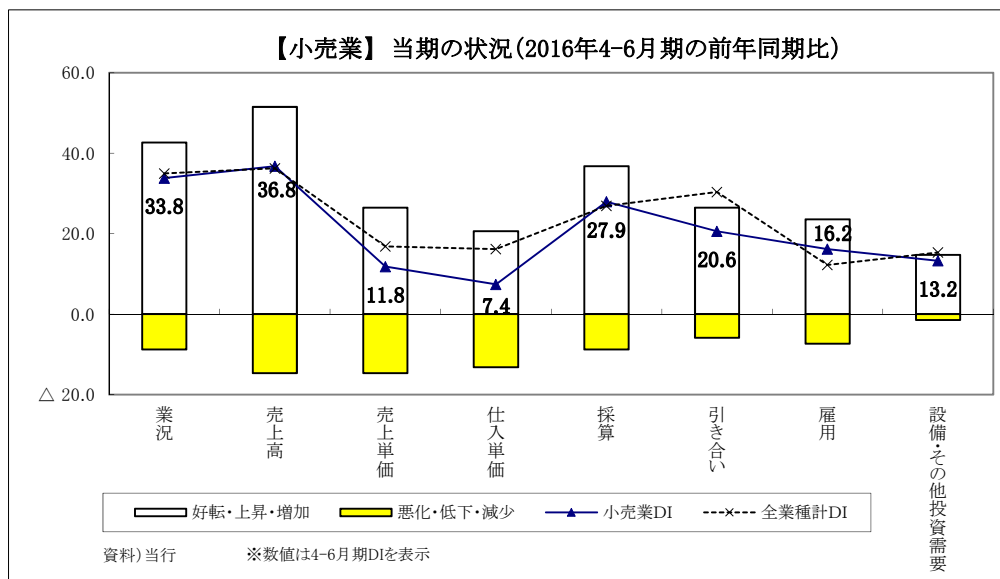
見通し業況 DI は 22.7 となり、全体としては業況改善の動きが見込まれます。食品、土産品卸売業では、観光のトップシーズン到来による国内外観光客の需要増加を見込んでおり、売上高・引き合い・採算の増加が期待されます。建築資材卸売業などでは、引き続き、公共・民間工事の受注増加などから売上高・採算の増加が見込まれます。一方で、熊本地震の影響による木材などの仕入単価の上昇を懸念する事業者も一部でみられます。



6. 小売業

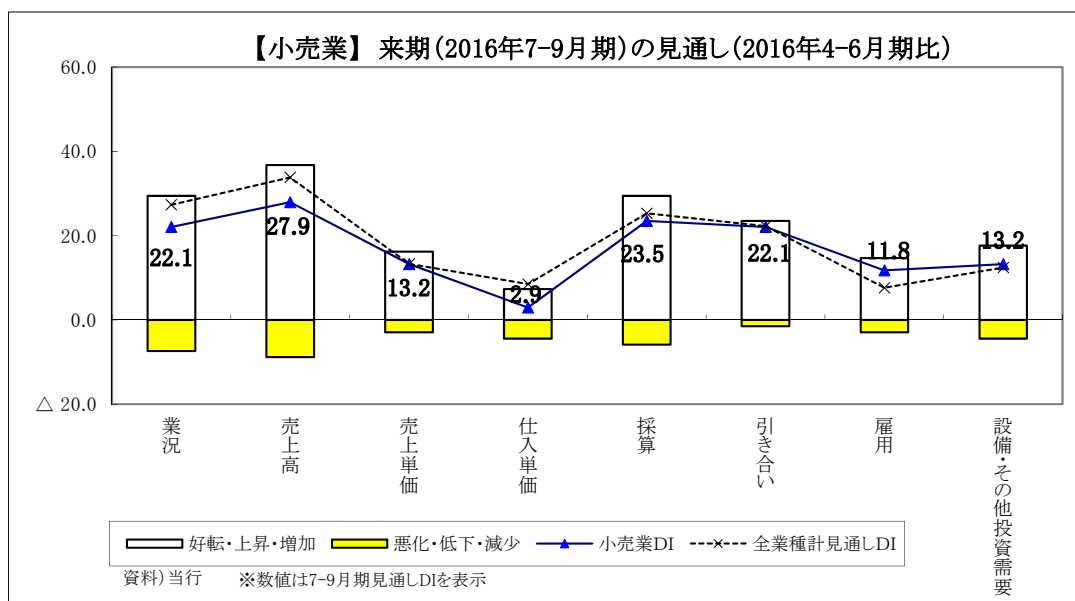
a. 当期の状況(2016年4-6月期の前年同期比)

業況DIは 33.8 となり、全体としては業況改善の動きがみられます。スーパー、コンビニエンスストア、百貨店、観光土産品、雑貨販売業などでは、ゴールデンウィークなど国内外観光客の需要増加や新規出店などにより、売上高・採算・引き合いが増加しています。自動車販売業では、新型モデルの販売や新店舗オープンなどにより売上高・採算が増加しています。一方で、一部では修学旅行やインバウンド(訪日観光客)需要に落ち着きがみられるという事業者や、不採算店舗の閉店などにより売上高が減少している事業者もみられます。



b. 来期の見通し(2016年7-9月期の2016年4-6月期比)

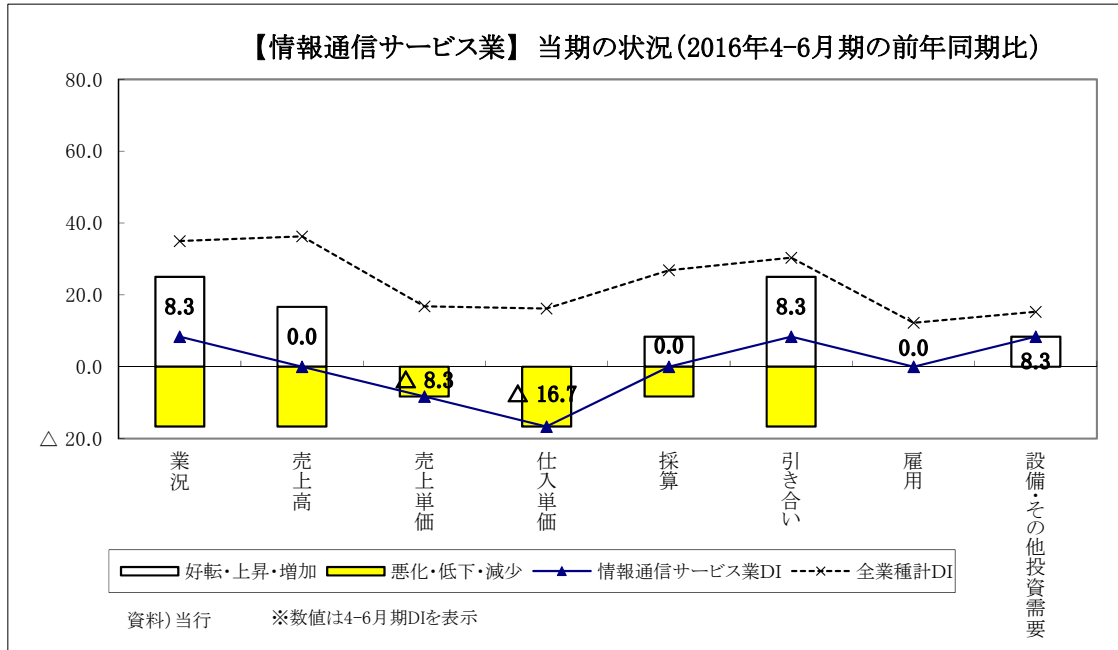
見通し業況DIは 22.1 となり、全体としては業況改善の動きが見込まれます。観光土産品、雑貨販売業などでは、引き続き、観光のトップシーズン到来による国内外観光客の需要増加が見込まれ、売上高・採算・引き合いの増加が期待されます。また、一部の事業者では、新店舗や店舗改装などの設備投資による需要増加を見込んでおり、売上高・採算・引き合いの増加が期待されます。



7. 情報通信サービス業

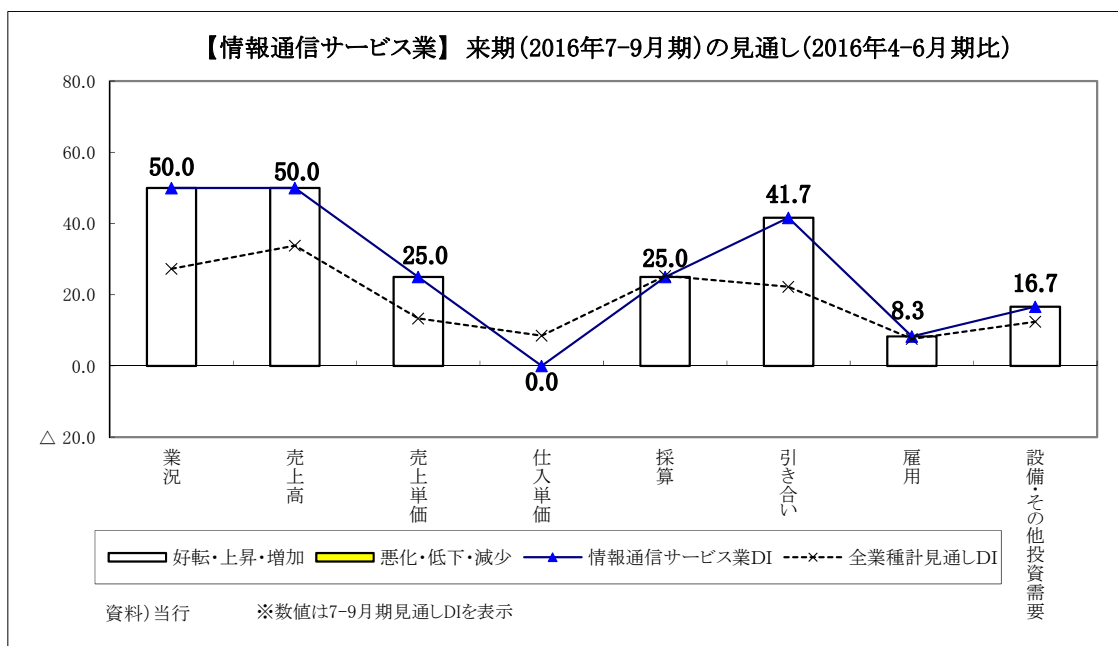
a. 当期の状況(2016年4-6月期の前年同期比)

業況DIは 8.3 となり、全体としては業況改善の動きがみられます。ソフトウェア開発業者では、県外企業からのシステム開発受注などによる売上高・引き合いの増加がみられます。一方で、一部の機器工事業者では、前年工事の反動などから、売上高・売上単価・引き合いの減少がみられます。



b. 来期の見通し(2016年7-9月期の2016年4-6月期比)

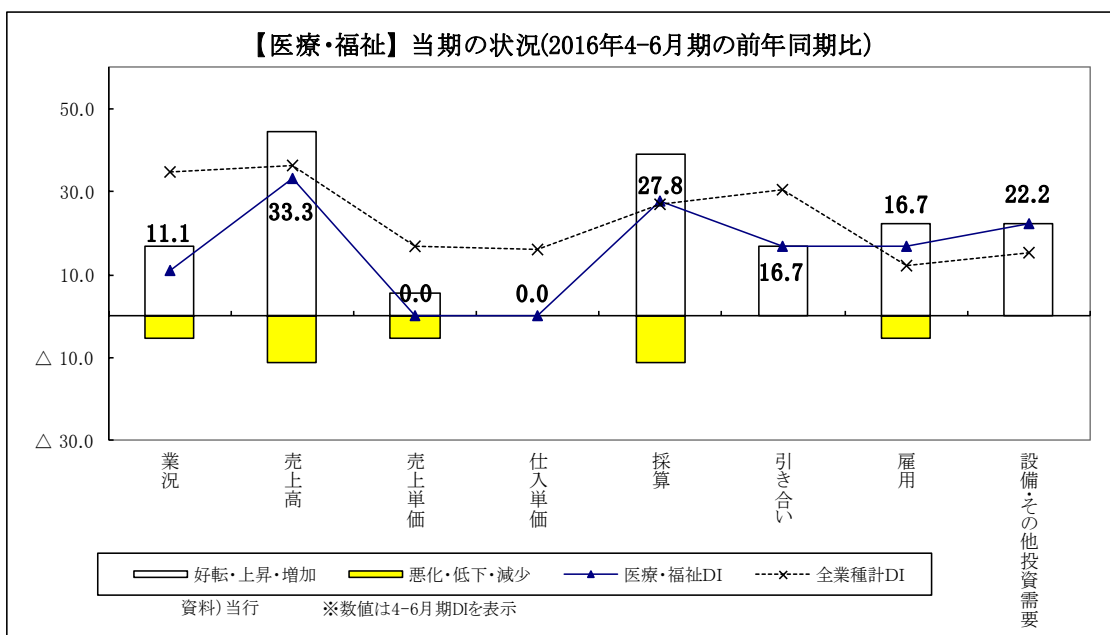
見通し業況DIは 50.0 となり、全体としては業況改善の動きが見込まれます。ソフトウェア開発業者では、自治体向けシステム開発受注などによる売上高・採算・引き合いの増加が見込まれるほか、機器工事業者などでは、保守点検等による売上高や引き合いの増加が期待されています。



8. 医療・福祉

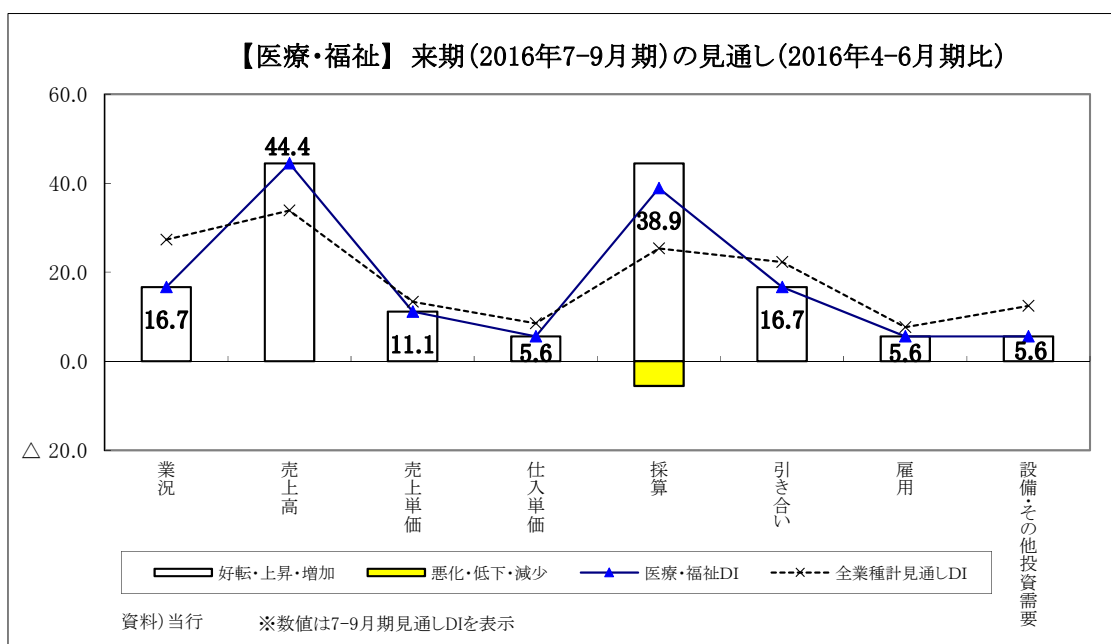
a. 当期の状況(2016年4-6月期の前年同期比)

業況DIは11.1となり、全体としては業況改善の動きがみられます。医療、介護施設などでは、不採算部門の閉鎖や入所者の増加などにより、売上高・採算が増加している事業者がみられます。また、一部の福祉用具レンタル販売業では、販路拡大による引き合いの増加がみられています。一方、一部の介護施設では、利用者の減少から売上高・採算の悪化がみられています。



b. 来期の見通し(2016年7-9月期の2016年4-6月期比)

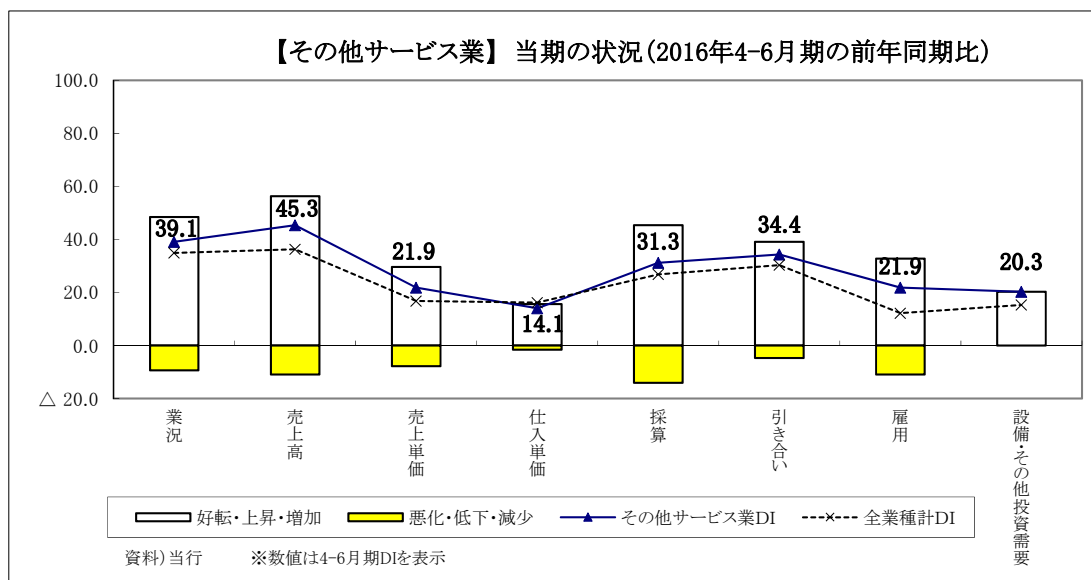
見通し業況DIは16.7となり、全体としては業況改善の動きがみられ、医療施設の経営環境は堅調に推移することが見込まれます。また、一部の医療、介護施設では、新規事業所の開設や入所者の増加などが見込まれており、売上高・採算の増加が期待されています。



9. その他サービス業(宿泊、飲食、ゴルフ場、遊戯場、結婚式場、教育関連等)

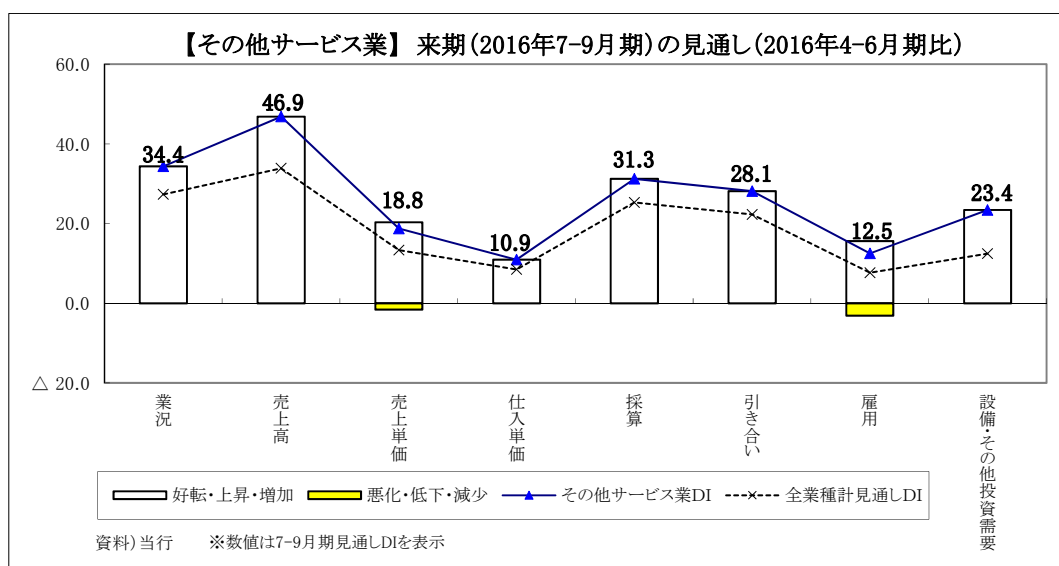
a. 当期の状況(2016年4-6月期の前年同期比)

業況DIは 39.1 となり、全体としては業況改善の動きがみられます。旅行、宿泊、飲食業(ラーメン店、居酒屋、焼肉店など)では、ゴールデンウィークなど国内外観光客需要の増加や新規出店などにより、売上高・採算・引き合いが増加しています。また、一部の事業者では、外国語対応スタッフの雇用増加などインバウンド対応強化の動きがみられるものの、依然として人手不足感は続いています。



b. 来期の見通し(2016年7-9月期の2016年4-6月期比)

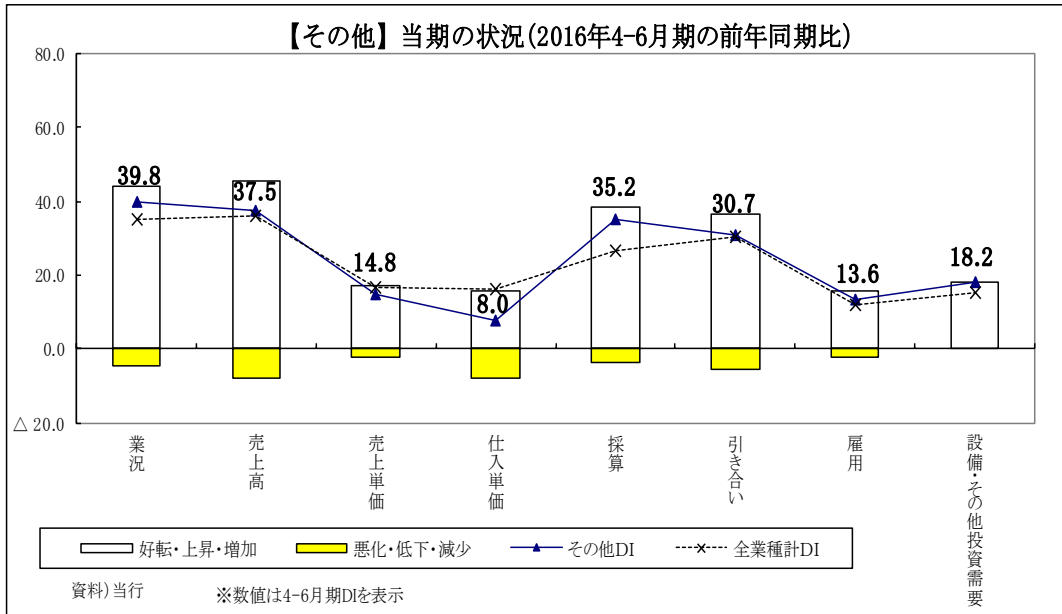
見通し業況DIは 34.4 となり、全体としては業況改善の動きが見込まれます。引き続き、旅行、宿泊、飲食業などでは、観光のトップシーズン到来による国内外観光客の需要増加や新規出店、店舗改装、販路拡大が見込まれることなどから、売上高・売上単価・採算・引き合いの増加が期待されています。一方で、継続的な人手不足の影響から雇用の確保を懸念する事業者も一部で見られます。



10.その他(不動産、運輸、測量・設計コンサル等)

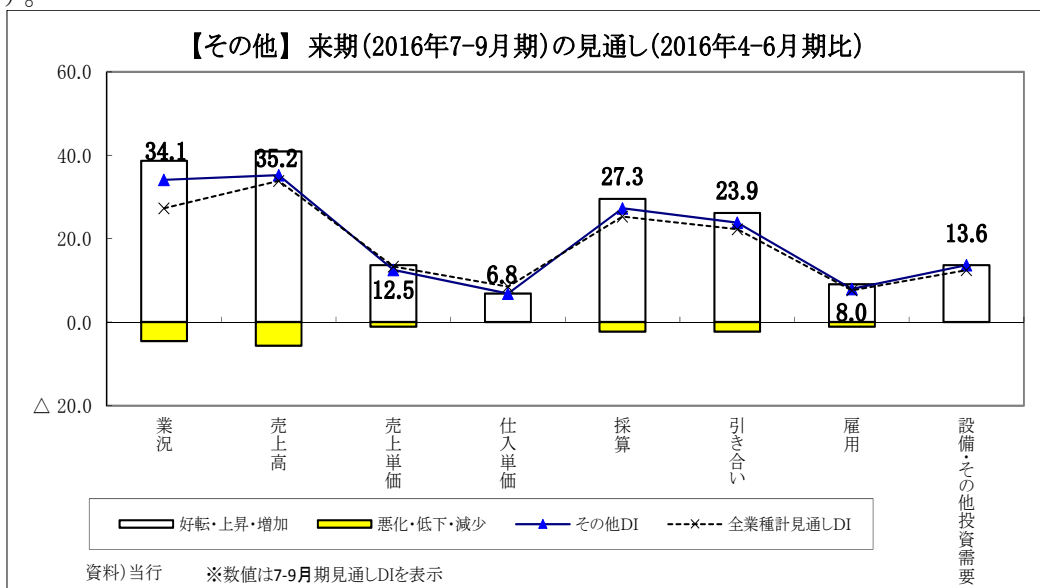
a.当期の状況(2016年4-6月期の前年同期比)

業況DIは39.8となり、全体としては業況改善の動きがみられます。測量・設計・リース業では公共・民間工事の受注増加から、売上高・採算・引き合いの増加がみられるほか、運輸業では国内外観光客の需要増加や原油安の影響による仕入単価の減少や採算の好転がみられます。また、不動産業(販売・仲介・管理)では、消費税増税延期の決定以前にアパート、住宅、マンション等の売買商談が多くみられていたことなどから、売上高・採算・引き合いの増加がみられます。



b.来期の見通し(2016年7-9月期の2016年4-6月期比)

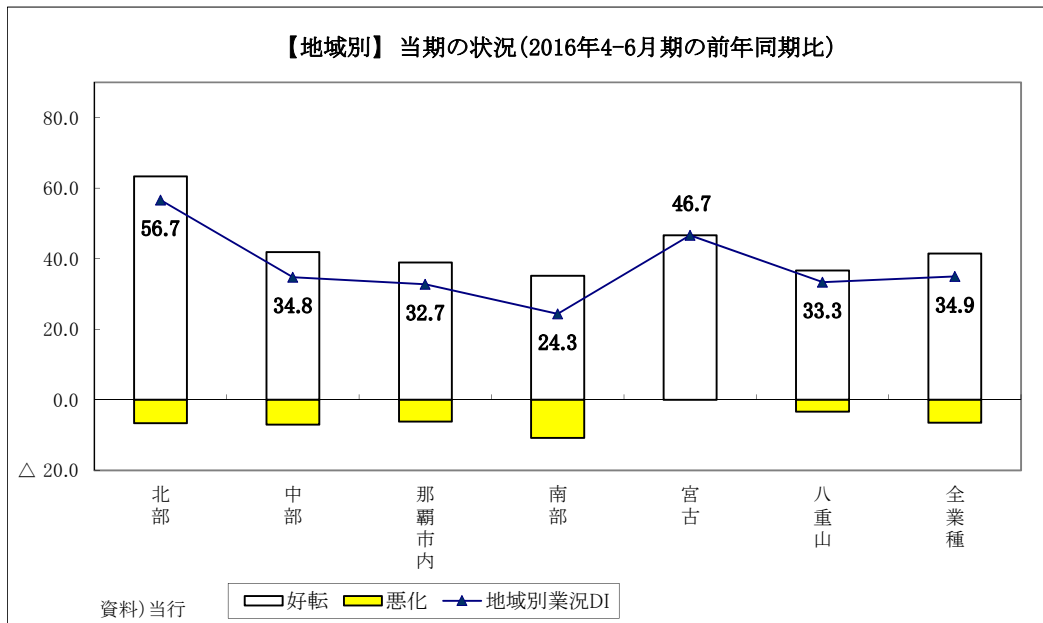
見通し業況DIは34.1となり、全体としては業況改善の動きが見込まれます。引き続き、測量・設計・リース業では公共・民間工事の受注増加などから、運輸業では観光のトップシーズン到来による国内外観光客の需要増加などから、売上高・採算・引き合いの増加が見込まれます。また、一部の不動産業では、消費税増税が延期されたものの、賃貸管理物件や県外からの投資需要の増加が見込まれることなどから、売上高・引き合いの増加が期待されています。



Ⅲ. 調査結果(2) ～地域別の業況DI～

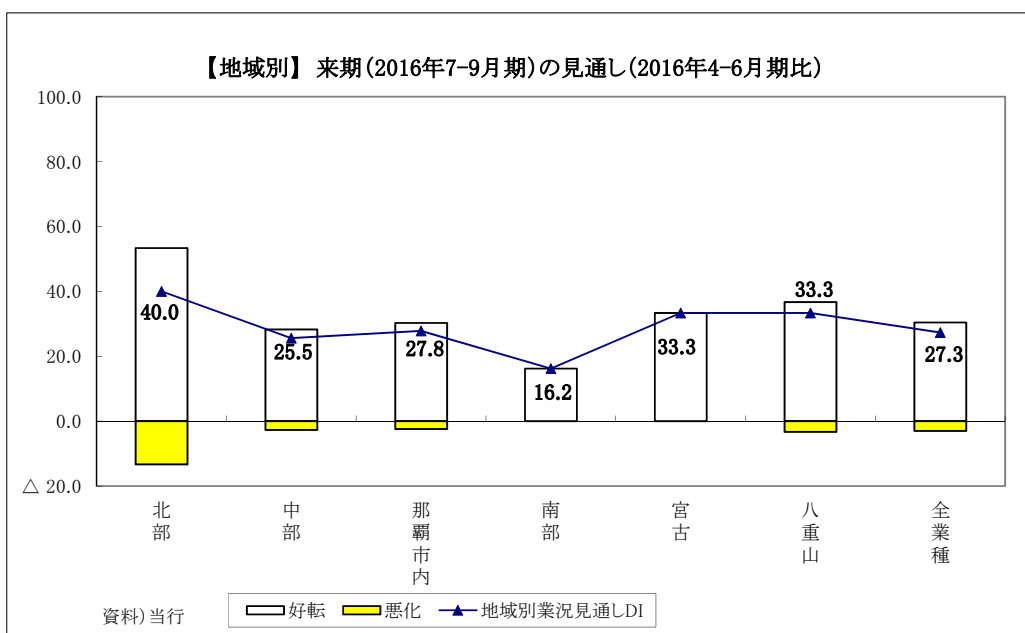
1. 当期の状況(2016年4-6月期の前年同期比)

地域別業況DIは、ゴールデンウィークなど国内外観光客需要の増加や公共・民間工事の受注増加がみられる北部地区(56.7)や宮古地区(46.7)をはじめ、各地域において、観光関連(宿泊・小売・運輸業等)や建設関連(土木・建築業等)が好調に推移していることなどから、全ての地域で業況改善の動きとなりました。



2. 来期の見通し(2016年7-9月期の2016年4-6月期比)

地域別業況見通しDIは、引き続き、全ての地域で業況改善の動きが期待されます。観光のトップシーズン到来による国内外観光客の需要増加や公共・民間工事の受注増加が見込まれており、北部地区(40.0)や八重山地区(33.3)をはじめ、各地域において業況の改善が期待されています。



IV.まとめ

【当期の業況DI】

- ① 当期（2016年4-6月期）の業況DIは**34.9**ポイント（前年同期比）となり業況改善の動きとなりました。
- ② **観光関連（飲食、宿泊、運輸業など）**では、入域観光客数が好調に推移（4月＝7.3%増、5月＝12.0%増：いずれも前年同月比）していることや原油安の影響による仕入単価の減少などから、売上高・採算・引き合いが増加しています。一部では外国語対応スタッフの雇用増加など、インバウンド（訪日観光客）需要への対応強化の動きもみられます。依然として人手不足感は続いているものの、全体としては業況改善の動きがみられます。
- ③ **建設関連（土木、建築、測量、設計など）**では、公共工事（基地内、学校建替え等）・民間工事（マンション、ホテル、アパート等）の受注増加などから売上高・採算・引き合い・雇用が増加し、業況は改善しています。一部では資材価格や人件費の高騰による採算の悪化を懸念している事業者や人手不足感から受注を断念している事業者などもみられますが、全体としては業況改善の動きがみられます。
- ④ **小売業（スーパー、コンビニエンスストア、百貨店、観光土産品など）**では、ゴールデンウィークなど国内外観光客の需要増加や新規出店などにより、売上高・採算・引き合いが増加しているほか、**自動車販売業**では、新型モデルの販売や新店舗オープンなどにより売上高・採算が増加しています。一部では修学旅行やインバウンド（訪日観光客）需要に落ち着きが見られるという事業者や、不採算店舗の閉店などにより売上高が減少している事業者もみられるものの、全体としては業況改善の動きがみられます。

【来期の見通し業況DI】

- ① 来期（2016年7-9月期）の見通し業況DIは**27.3**ポイント（2016年4-6月期比）となり、引き続き業況改善が期待されます。
- ② **観光関連**では、観光のトップシーズン到来による国内外観光客の需要増加や新規出店、店舗改装、販路拡大などが見込まれており、売上高・売上単価・採算・引き合いの増加が期待されます。一部では、継続的な人手不足の影響から雇用の確保を懸念する事業者もみられるものの、全体としては業況改善の動きが見込まれます。
- ③ **建設関連**では、引き続き、公共・民間工事の受注増加が見込まれ、売上高・採算・引き合いの増加が期待されます。一部では熊本地震による資材価格や人手不足への影響を懸念している事業者や消費税増税延期による引き合いの減少を見込む事業者がみられるものの、全体としては業況改善の動きが見込まれます。
- ④ **小売業**では、引き続き、観光のトップシーズン到来による国内外観光客の需要増加が見込まれ、売上高・採算・引き合いの増加が期待されます。一部では、新店舗や店舗改装などの設備投資による需要増加が見込まれるなど、全体としては業況改善の動きが期待されます。

（おきぎん経済研究所 研究員 高良 圭）